

わが国における先史時代の区分

2013・02・23

1. 旧石器時代 現在から何万年前の文化をいう。
まだ土器を使用していない時代。狩りと魚とりと植物採集の生活。
2. 縄文時代 現在から1万6千年前頃からはじまった文化。粘土を焼いて器を製作する(縄文土器)。狩りと魚とりと植物採集の生活であるが、土器を利用して煮沸することを覚えた。また、ムラを構えて定住生活を始めた。
3. 弥生時代 現在から2千5百年から3千年前頃からはじまった文化。朝鮮半島や中国大陸から米作りの技術が伝わり、わが国の稲作文化がはじまった。米と一緒に鉄製品や青銅器が伝わり、次第に富を独占する人が現れてきた。
4. 古墳時代 **現在から1千7百年前頃からはじまった文化。多くの人々は、弥生時代と同様の生活をしていたが、一部に富みを独占する豪族が川崎市域にも現れ、そうした人物は畿内の豪族たちと連合を結んだ。そうした豪族たちが死後に葬られたのが古墳である。そこから古墳時代と呼ばれるようになった。**

古墳の二種

- I. 高塚古墳 高く盛土された古墳のこと。通常、古墳といえばこの高塚古墳をさす。その規模には、大・中・小があり、大きな古墳の代表といえば、天皇陵であり、中・小のものには、地域の豪族たちが葬られている。形では、円墳がもっとも多く、前方後円墳や八角形墳が格式の高いとされる。
葬る方法には、竪穴式石室や横穴式石室などがあり、後者には様々な装飾をした文様が認められる。カラー版が原則。
- II. 横穴墓 丘陵の裾部・中腹に、戦時中の防空壕のような穴を掘って葬る。盛り土で築く高塚の構造のうち、遺骸を葬る横穴式石室部分が類似する。**この横穴墓の壁面には、先端が尖った鉄製の工具で描いた線刻画がある。モノクロ版が原則。**

何故、壁画(カラー版・モノクロ版)を描いたのか。

墓主の生前の事績とか、墓主が死後も安寧な生活が送れるよう、忍び寄ってくる妖魔を放逐するとか、墓主が死した後もいつしか生き返ってくるよう願望して描いたものであろう。

平成25年2月23日(土)
於:柿生郷土史料館

横穴墓の線刻画を絵解きする～麻生区周辺～
講師：村田文夫(日本考古学協会員)



壁面模写

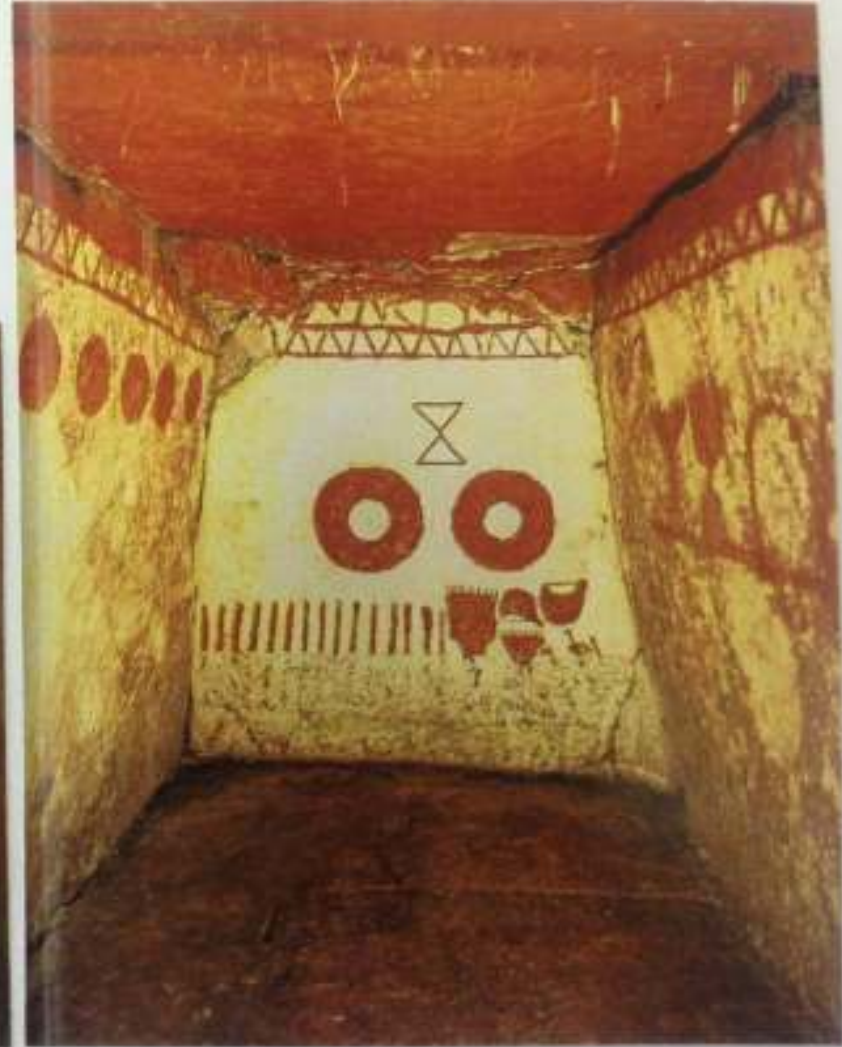


壁面復元図

福岡県珍敷塚古墳の装飾壁画



福岡県清戸迫横穴墓の装飾壁画

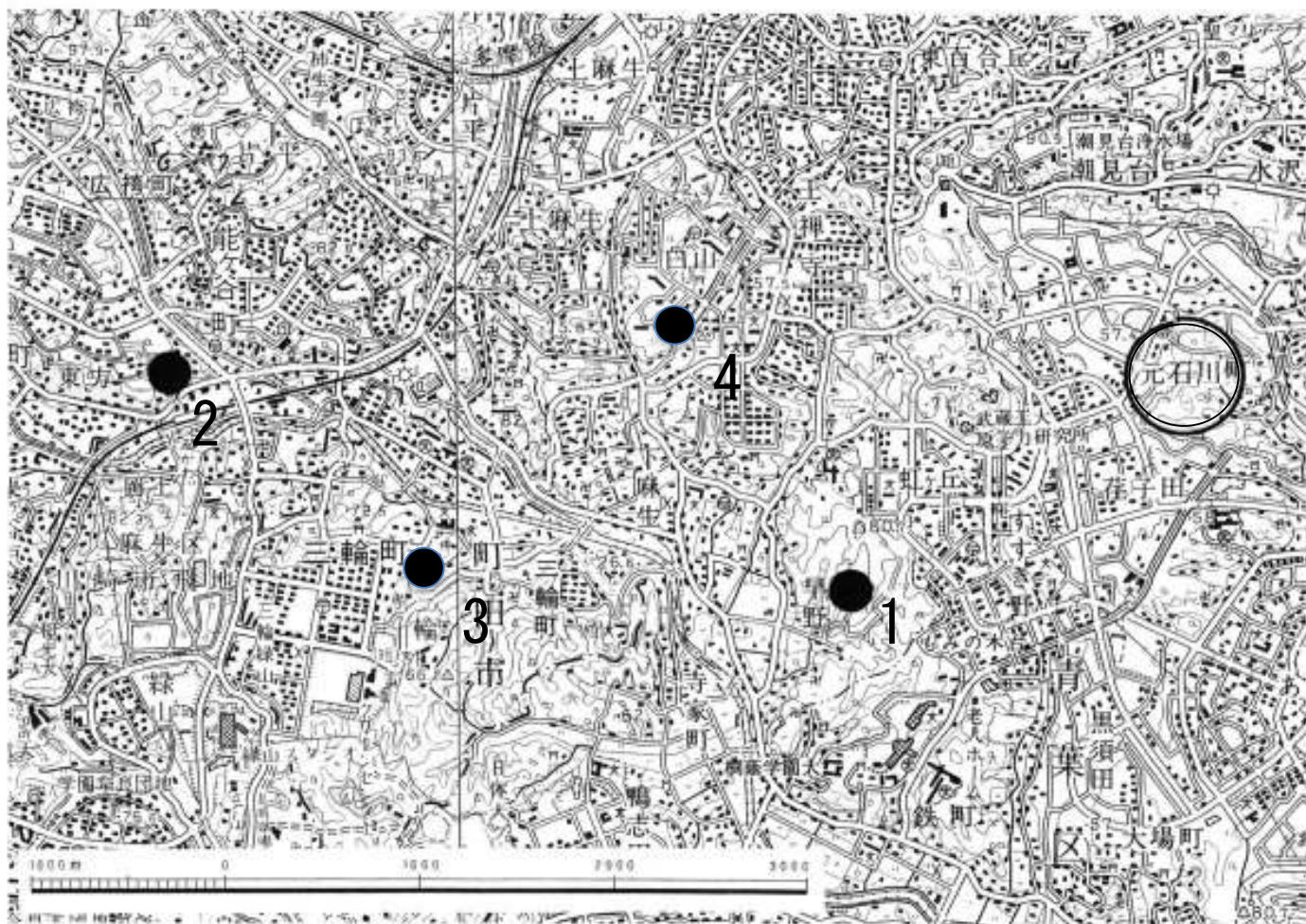


茨城県虎塚古墳の装飾壁画

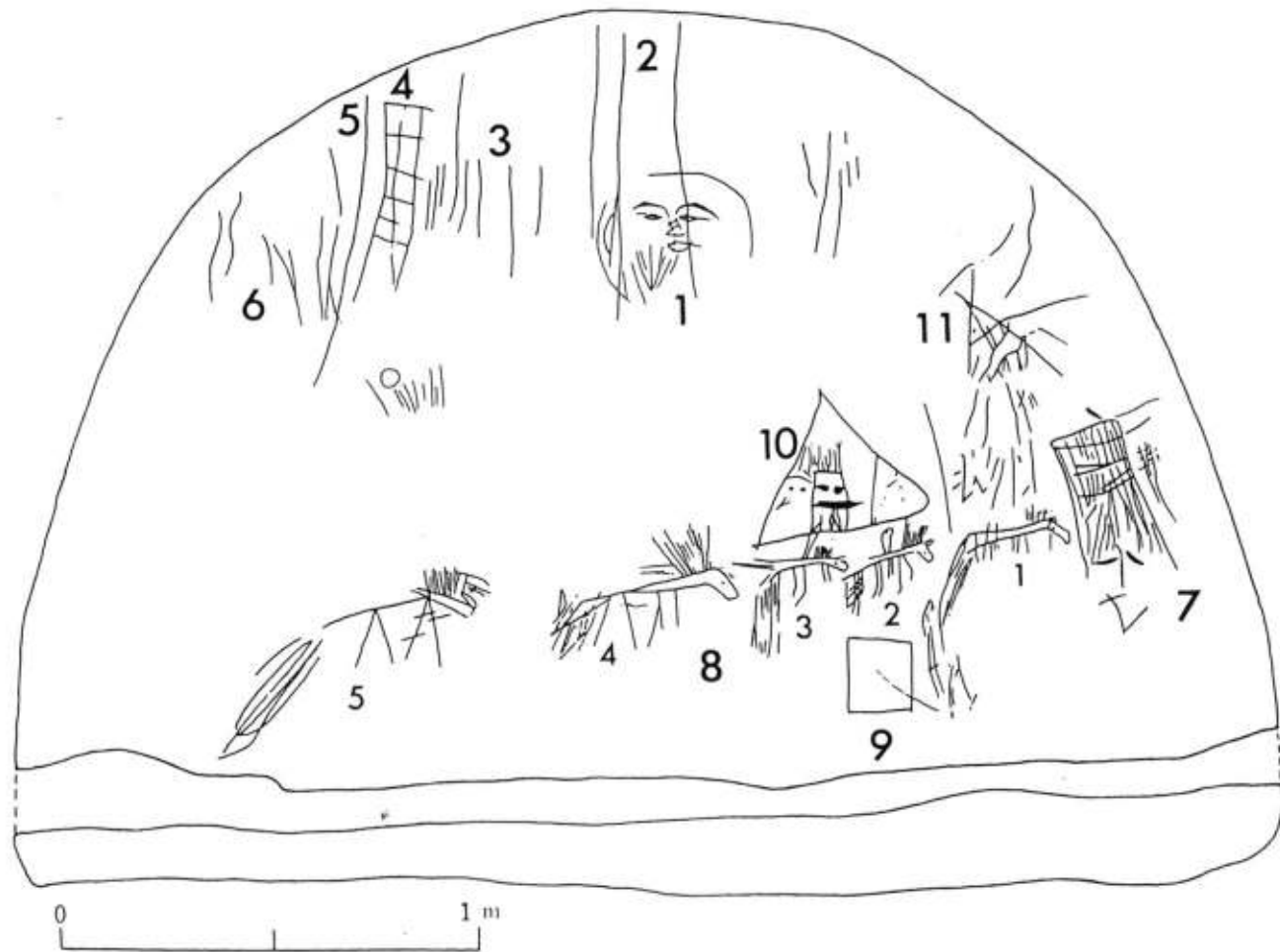


熊本県鍋田横穴墓外壁の彫刻画

早野横穴墓・鶴川遺跡群・石川牧(現・元石川)



早野横穴墓奥壁部の線刻画



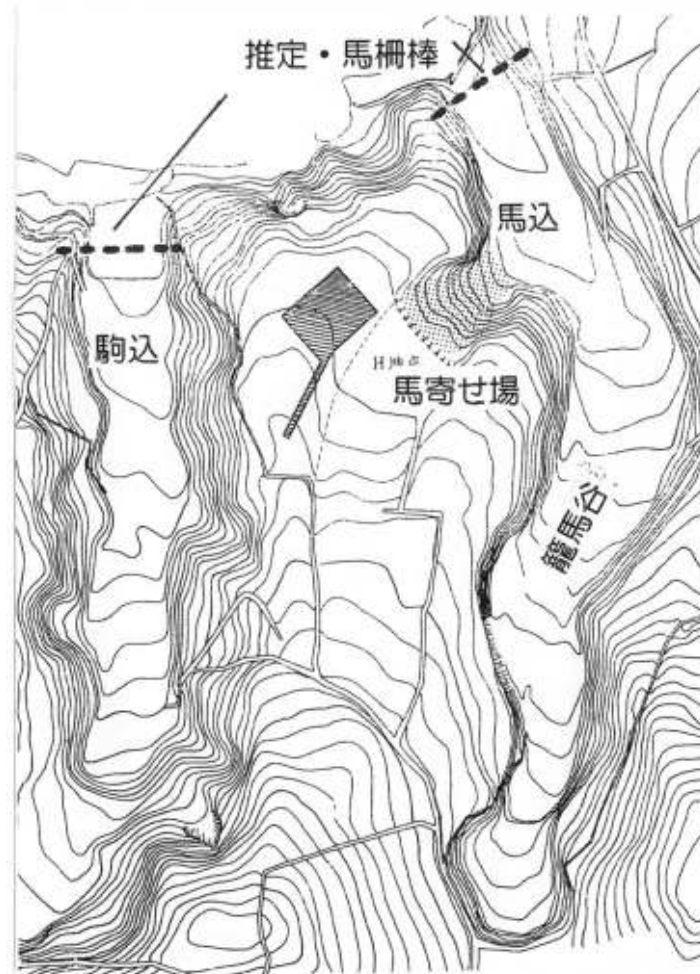
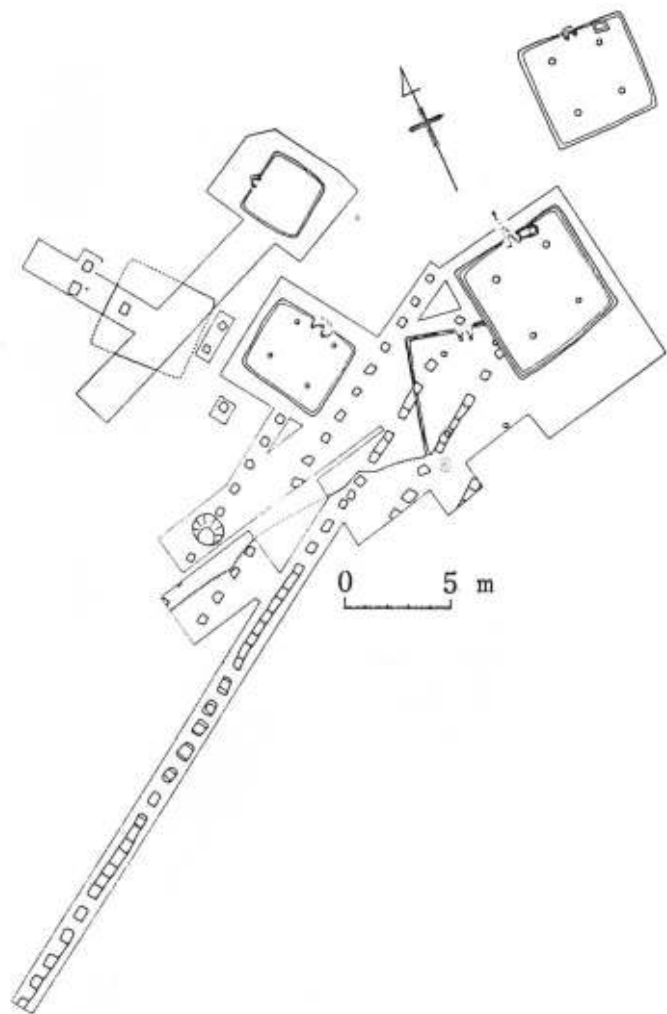
早野横穴墓の人面相写真



早野横穴墓の裸馬に騎乗する人物

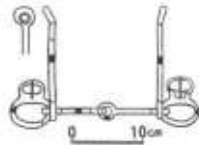
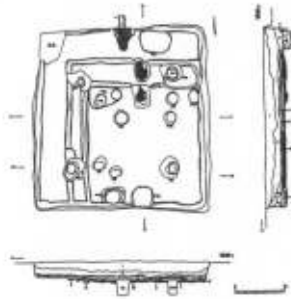


東京都町田市鶴川遺跡H地点と谷戸





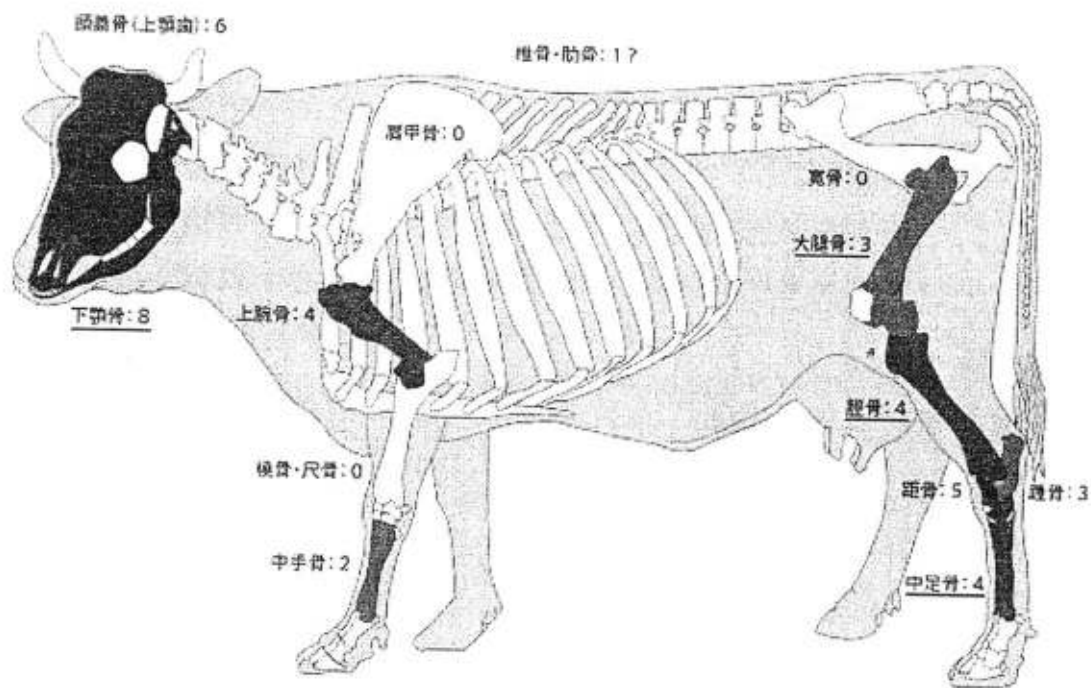
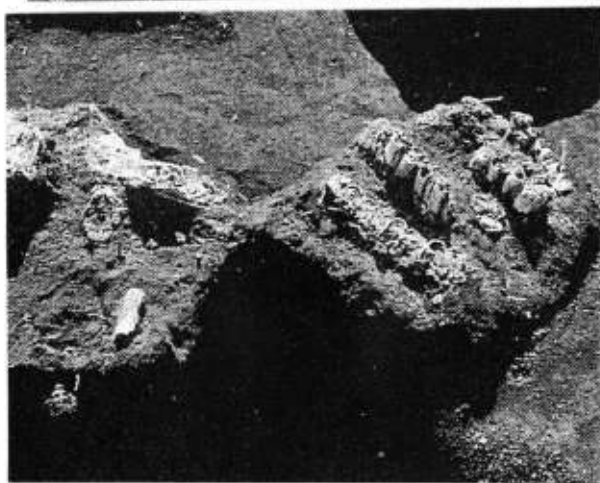
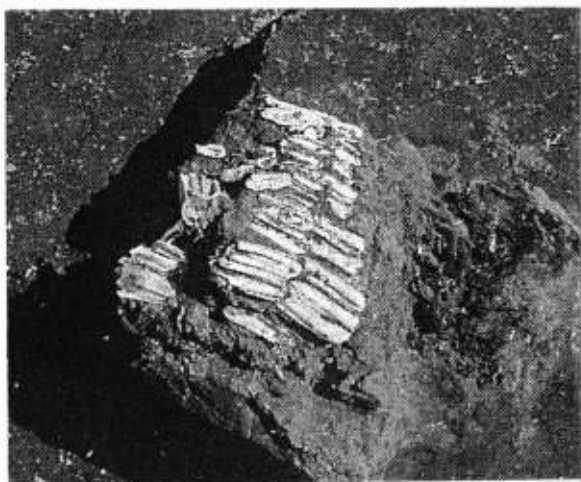
↑東京都西多摩郡三吉野遺跡の区画溝

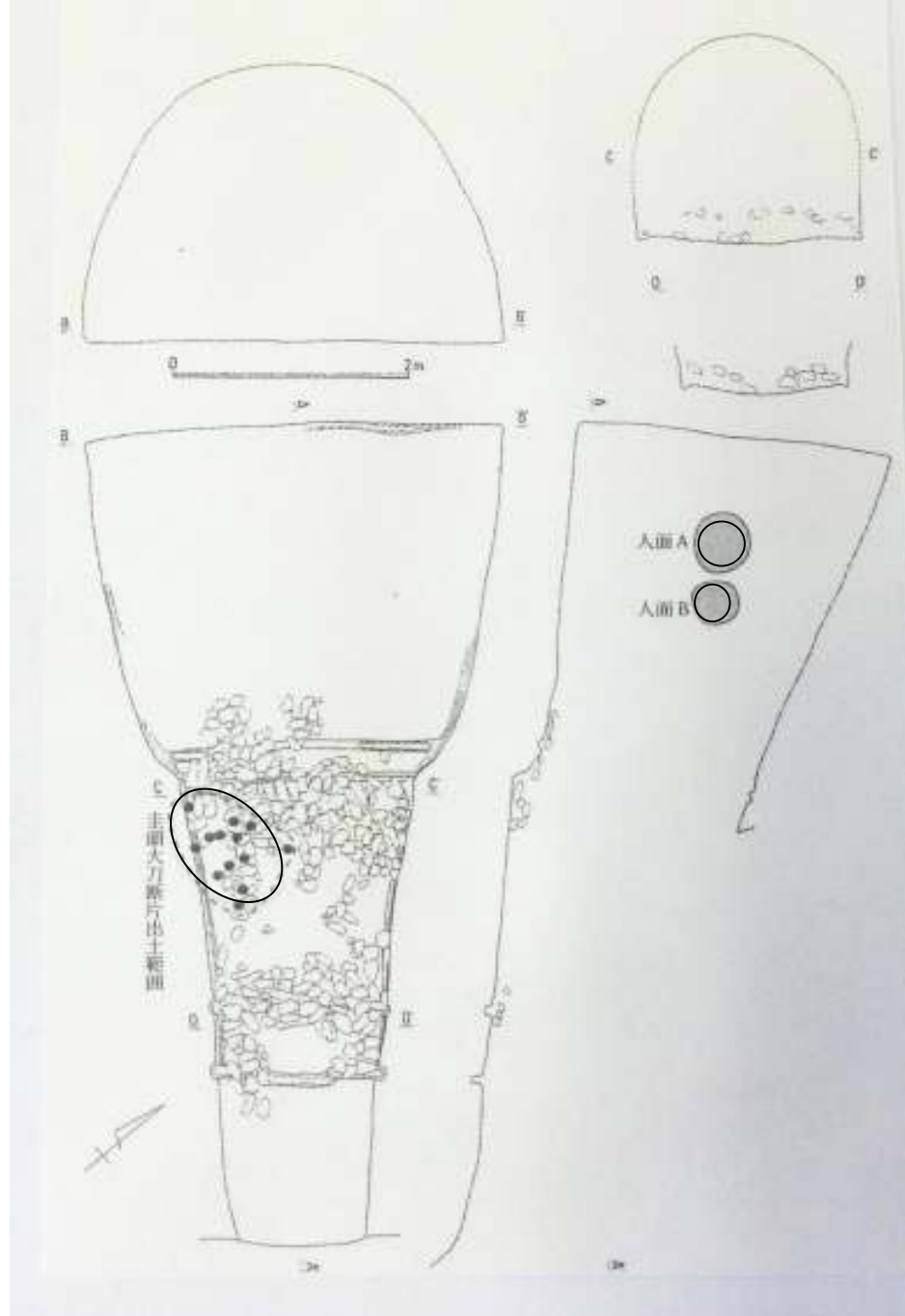


↓東京都町田市木曾森野遺跡の区画溝

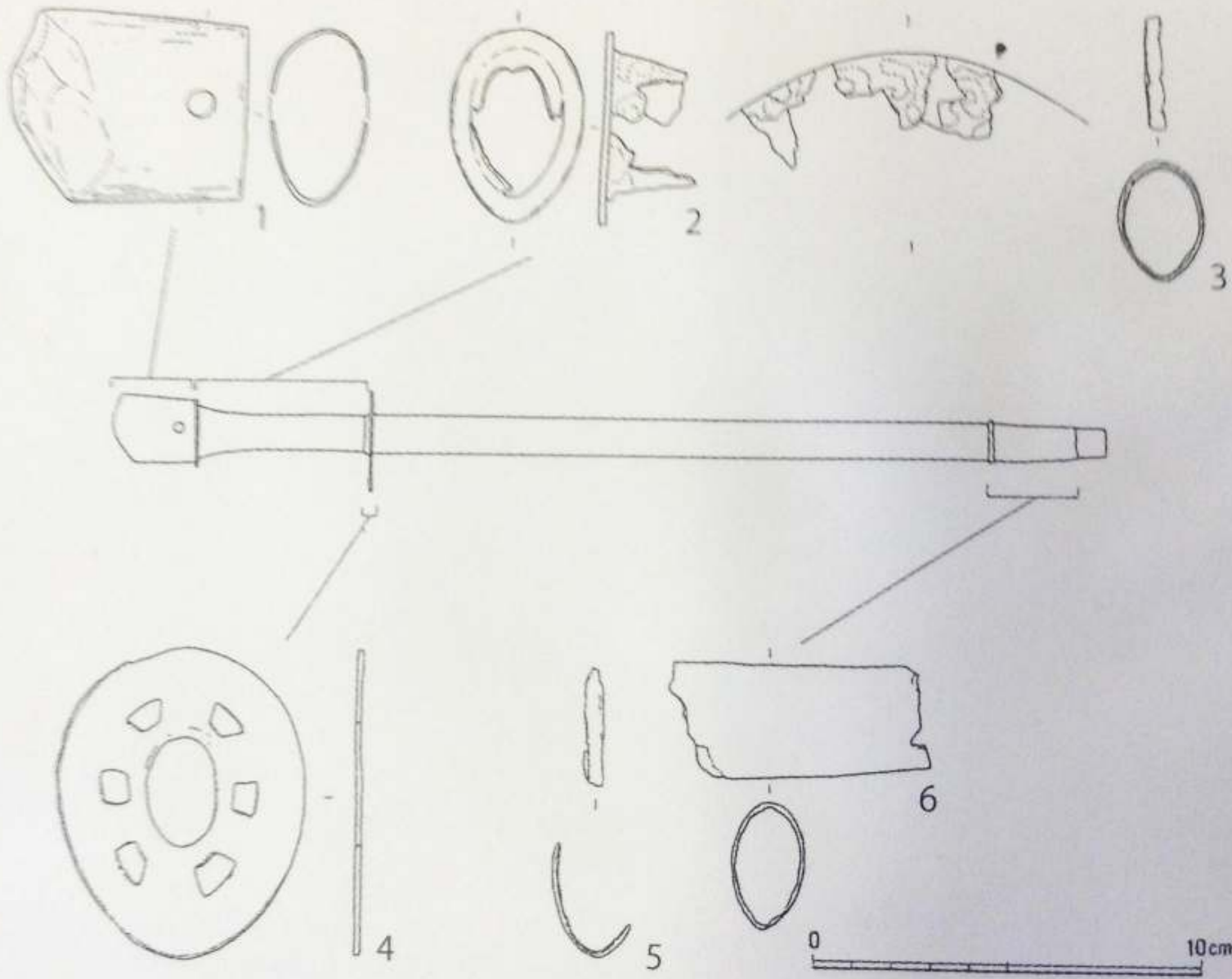


東京都多摩市上つ原遺跡から発見された牛の歯





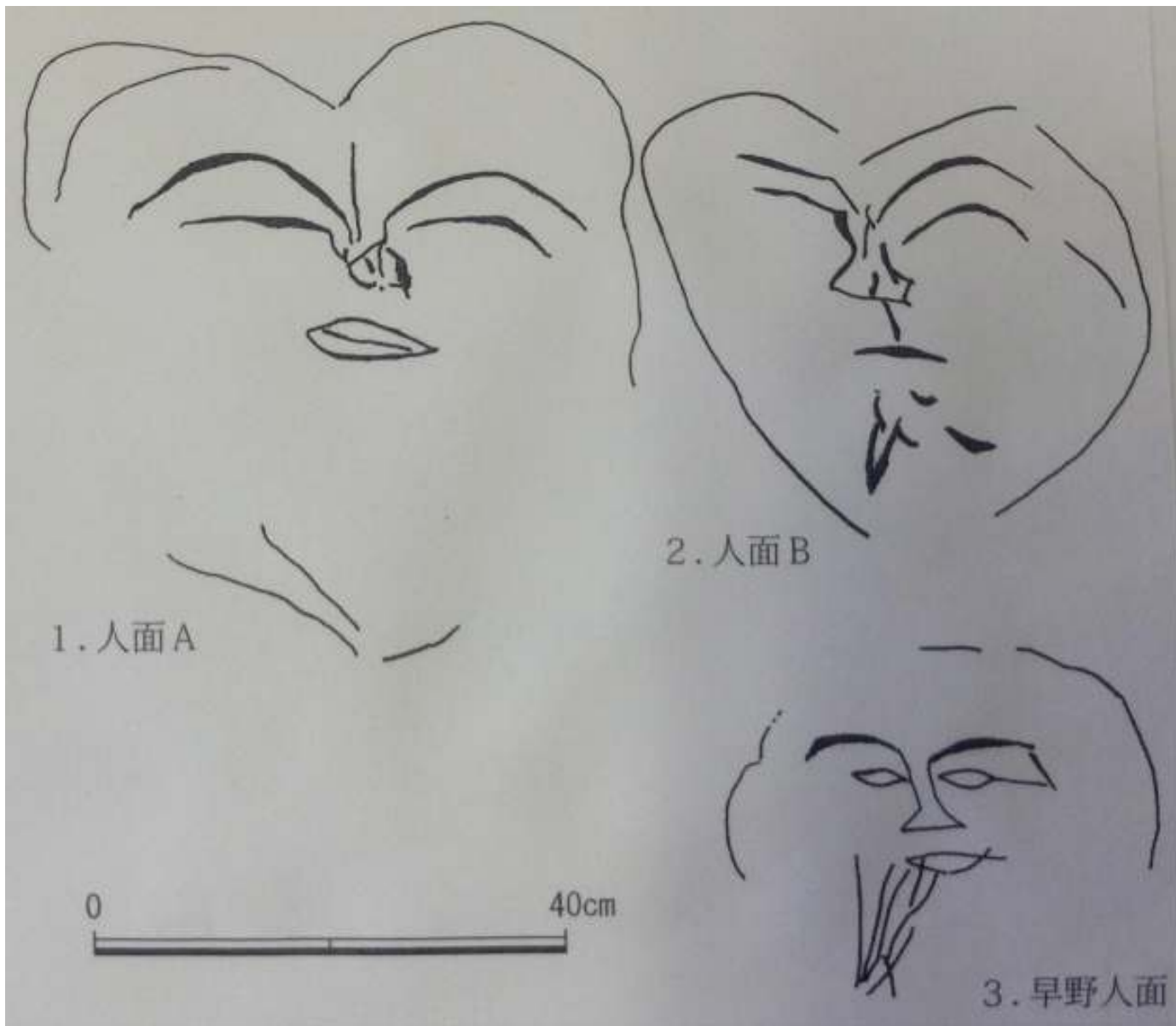
町田市三輪町・西谷戸横穴墓



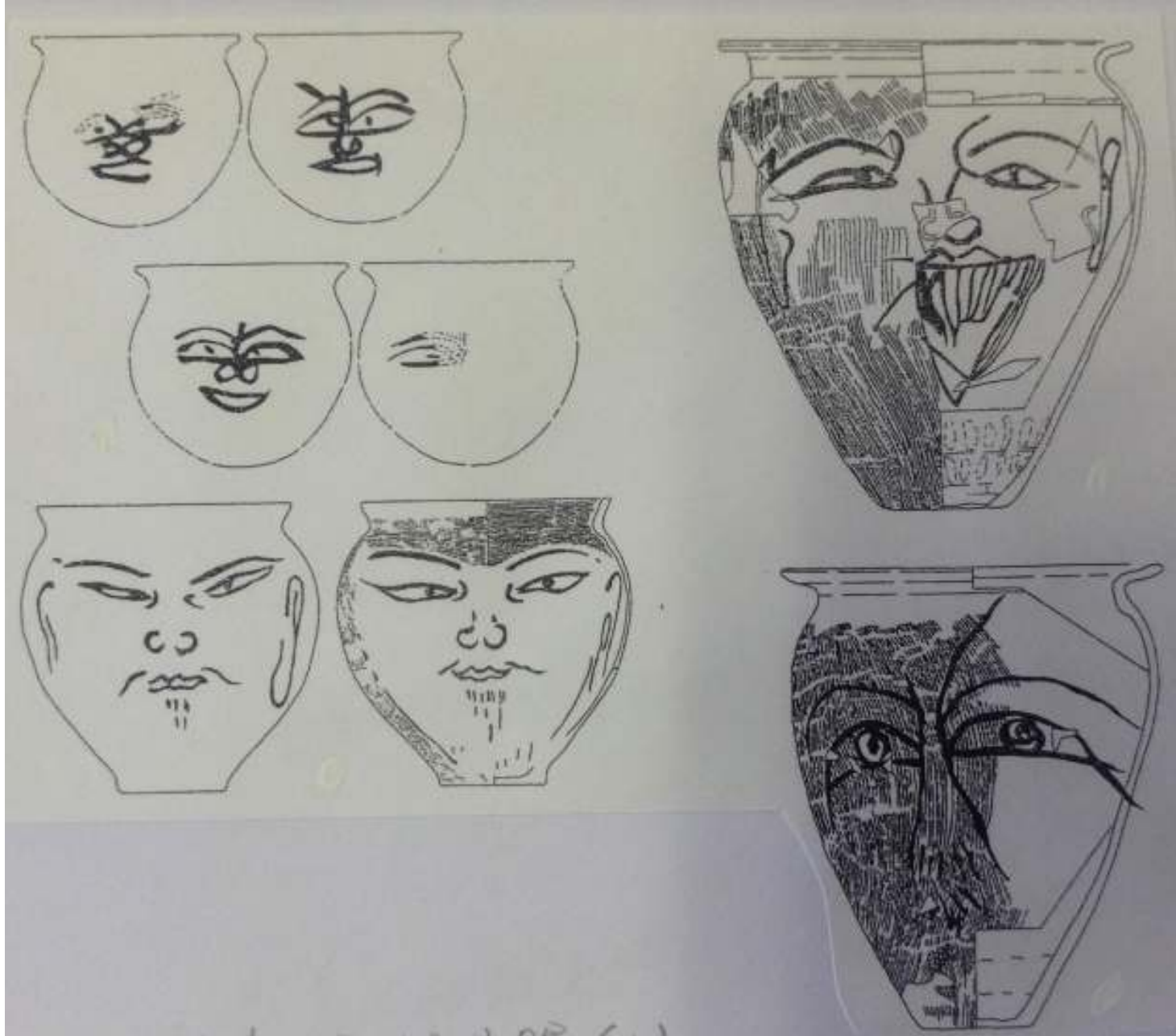
5号横穴墓出土の圭頭大刀実測図



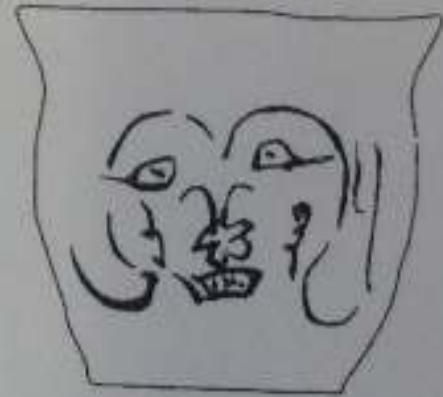
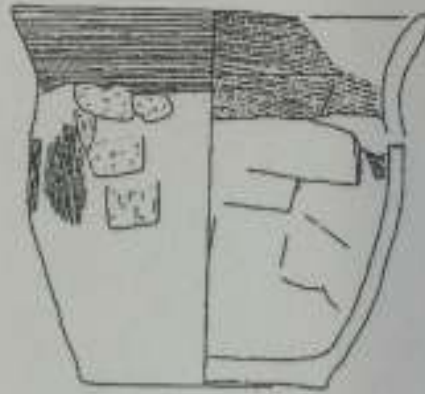
西谷戸横穴墓側壁の線刻画



西谷戸横穴墓と早野横穴墓の人面相



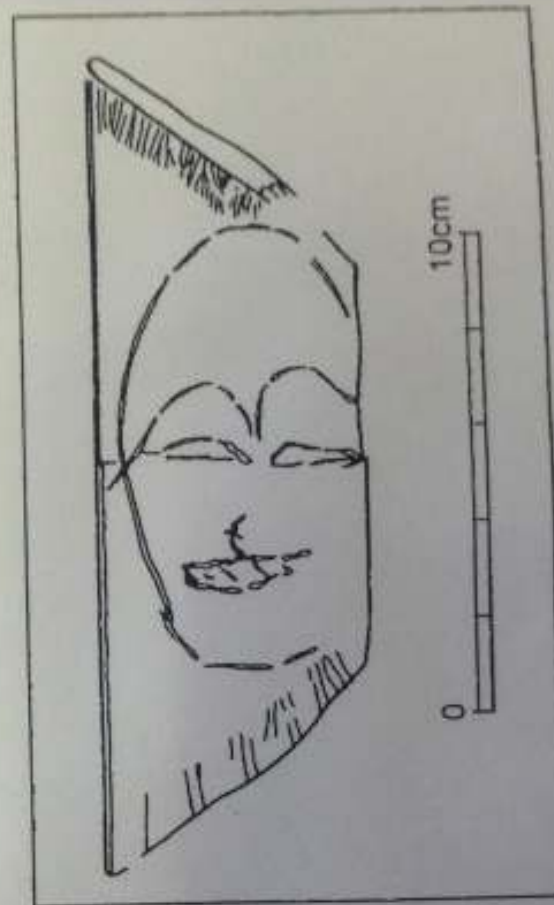
墨書人面相土器(1)



墨書人面相土器(2)

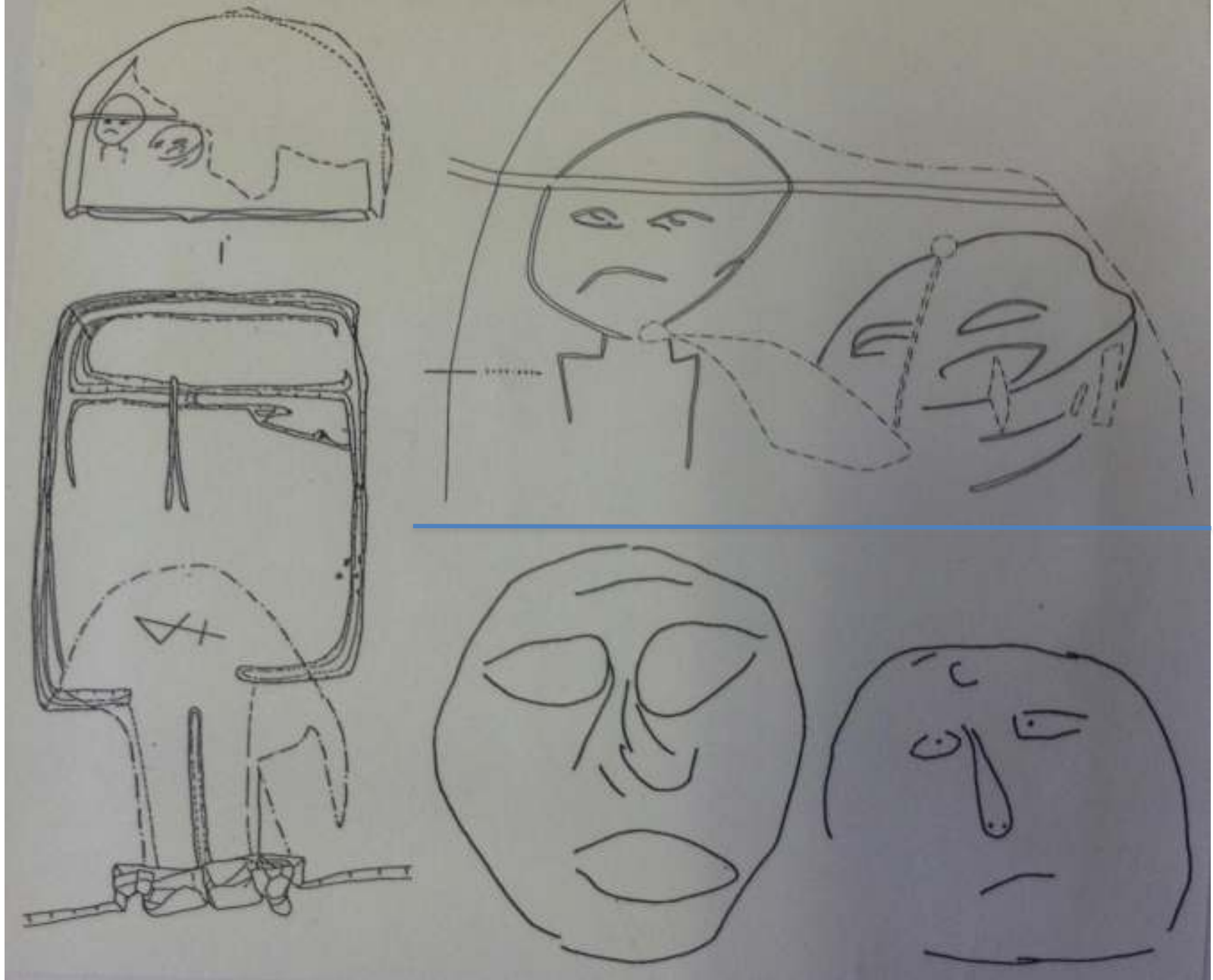


伎楽面・師子児（『生まれかわった法隆寺宝物館』
1999 図録より転写

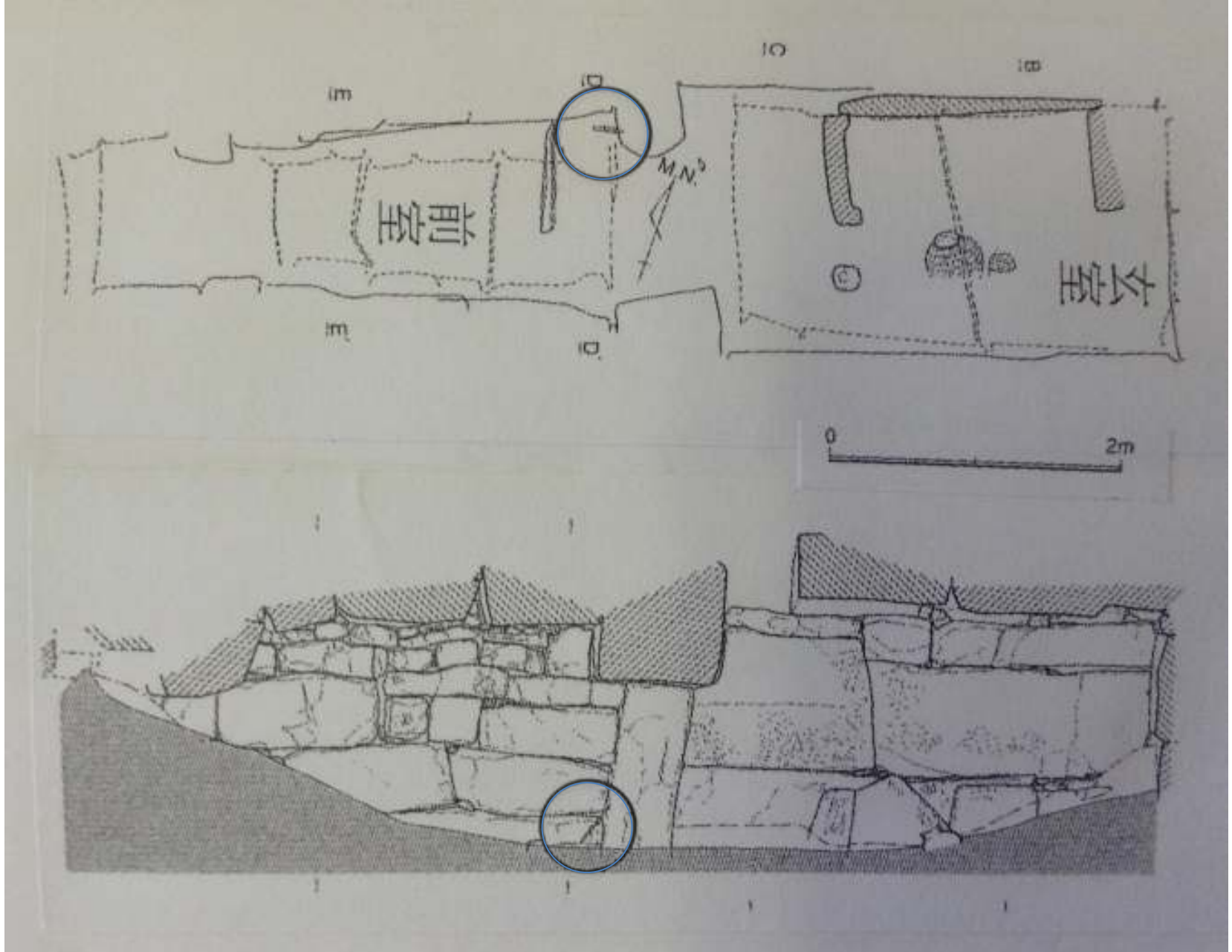


千葉県八千代市
上谷遺跡発掘の線刻された人面土器

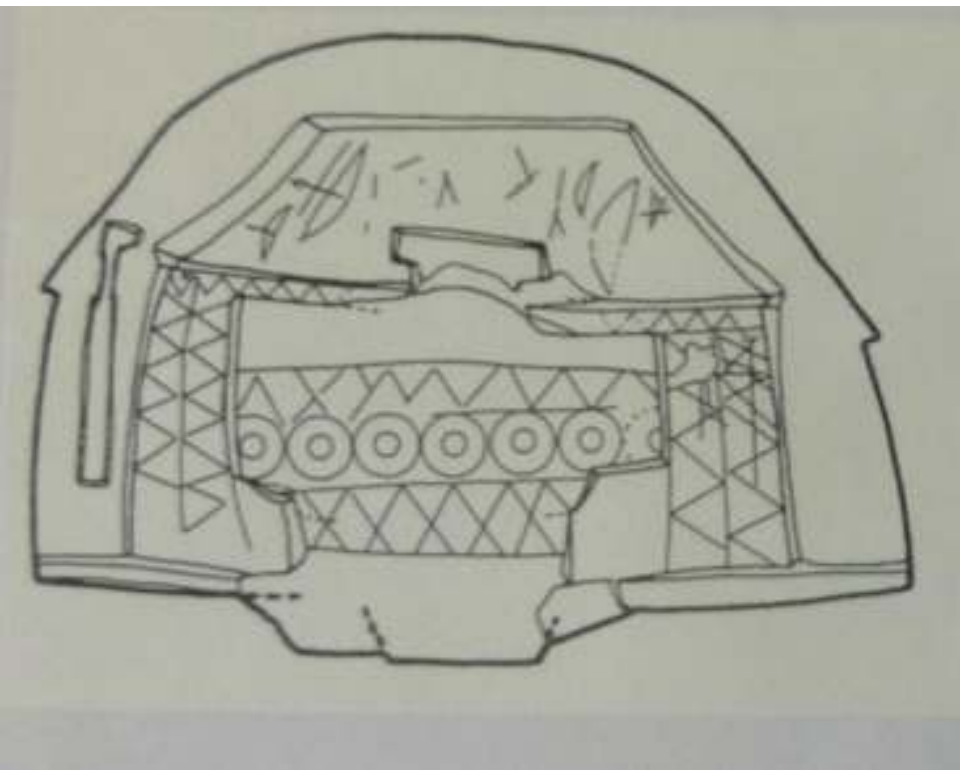
様々な人面相



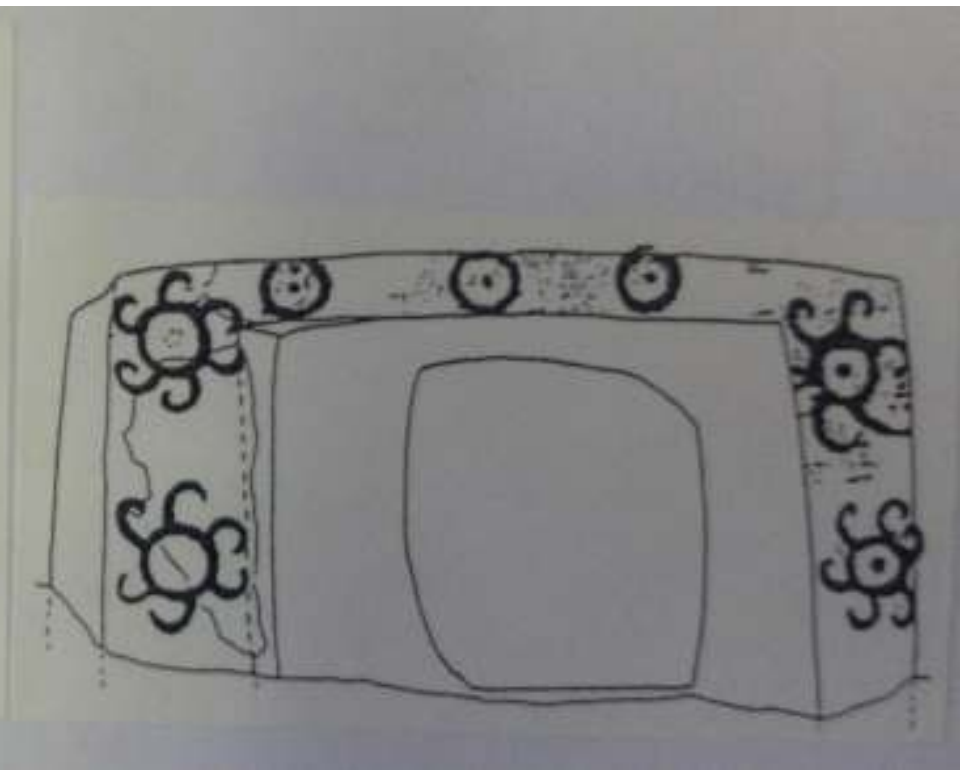
福岡県城越横穴墓の人面相線刻画
茨城県幡横穴墓の人面相線刻画



島根県中村1号墳の横穴式石室



熊本県石貫ナギノ横穴墓の弓矢画



大分県貴舟平横穴墓のスイズ貝画



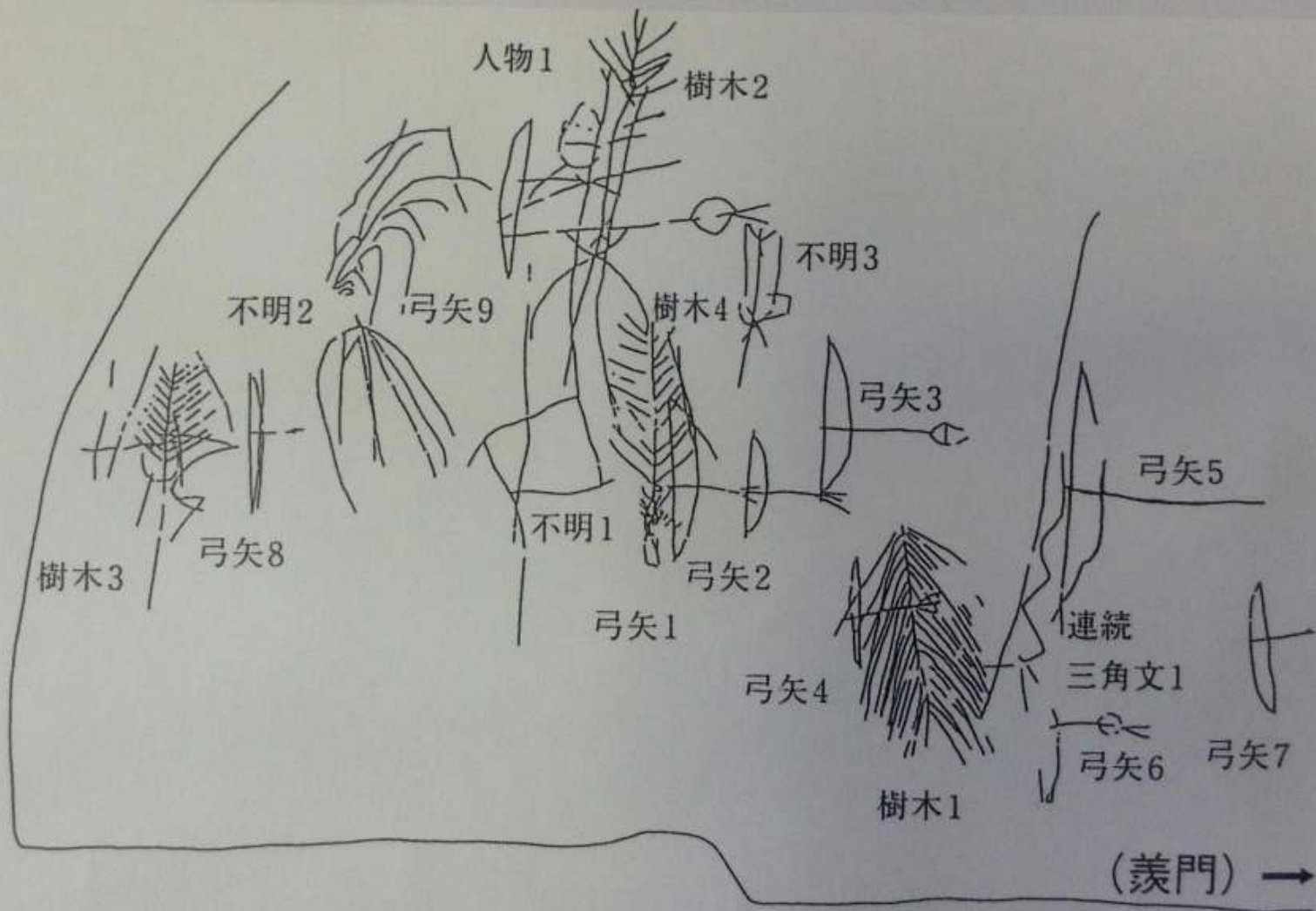
奥壁線刻画



第1号横穴墓の平面・断面図と連続三角文の位置

王禅寺白山横穴墓の線刻画(1)

東壁線刻画



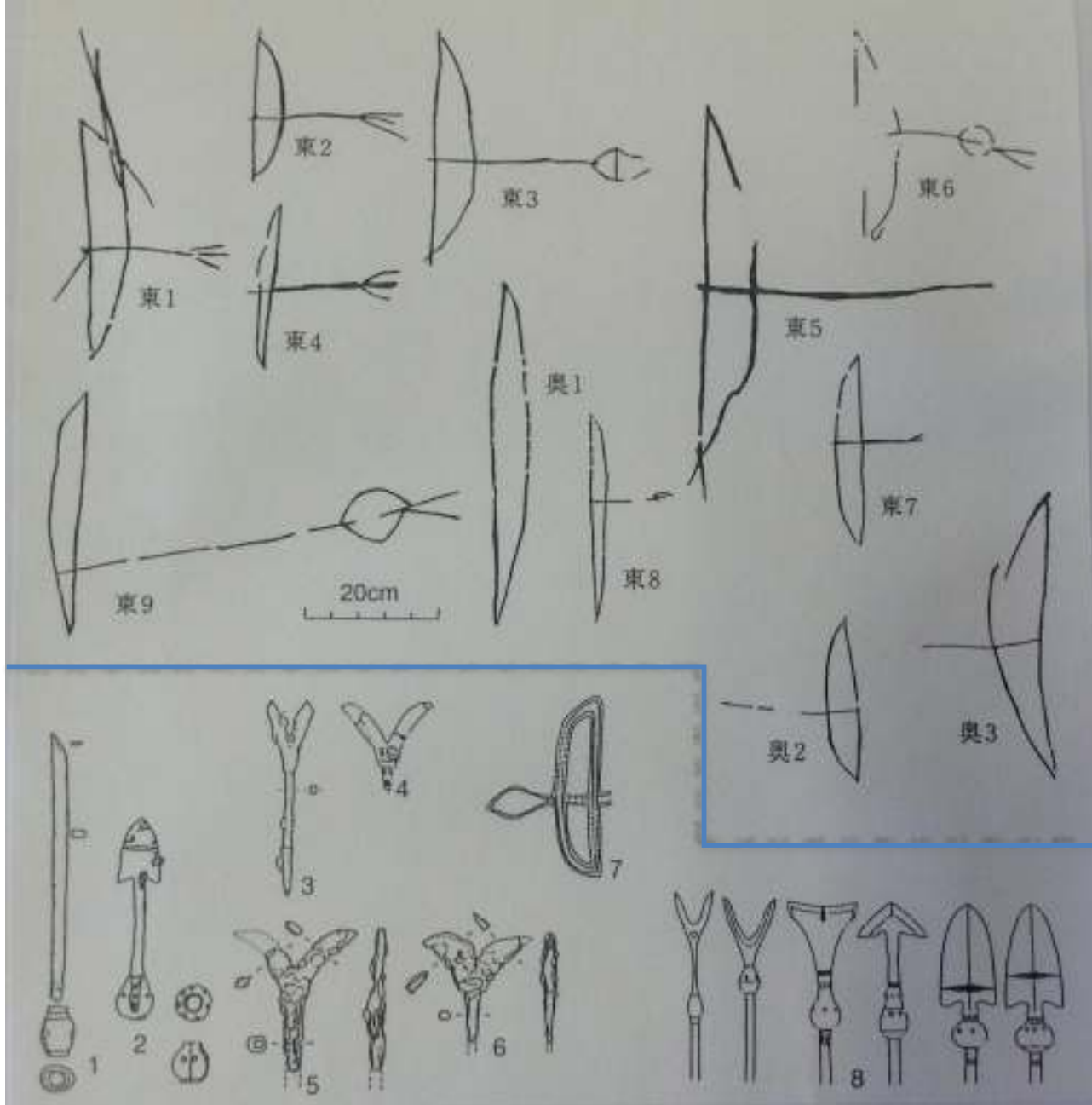
王禪寺白山横穴墓の線刻画(2)



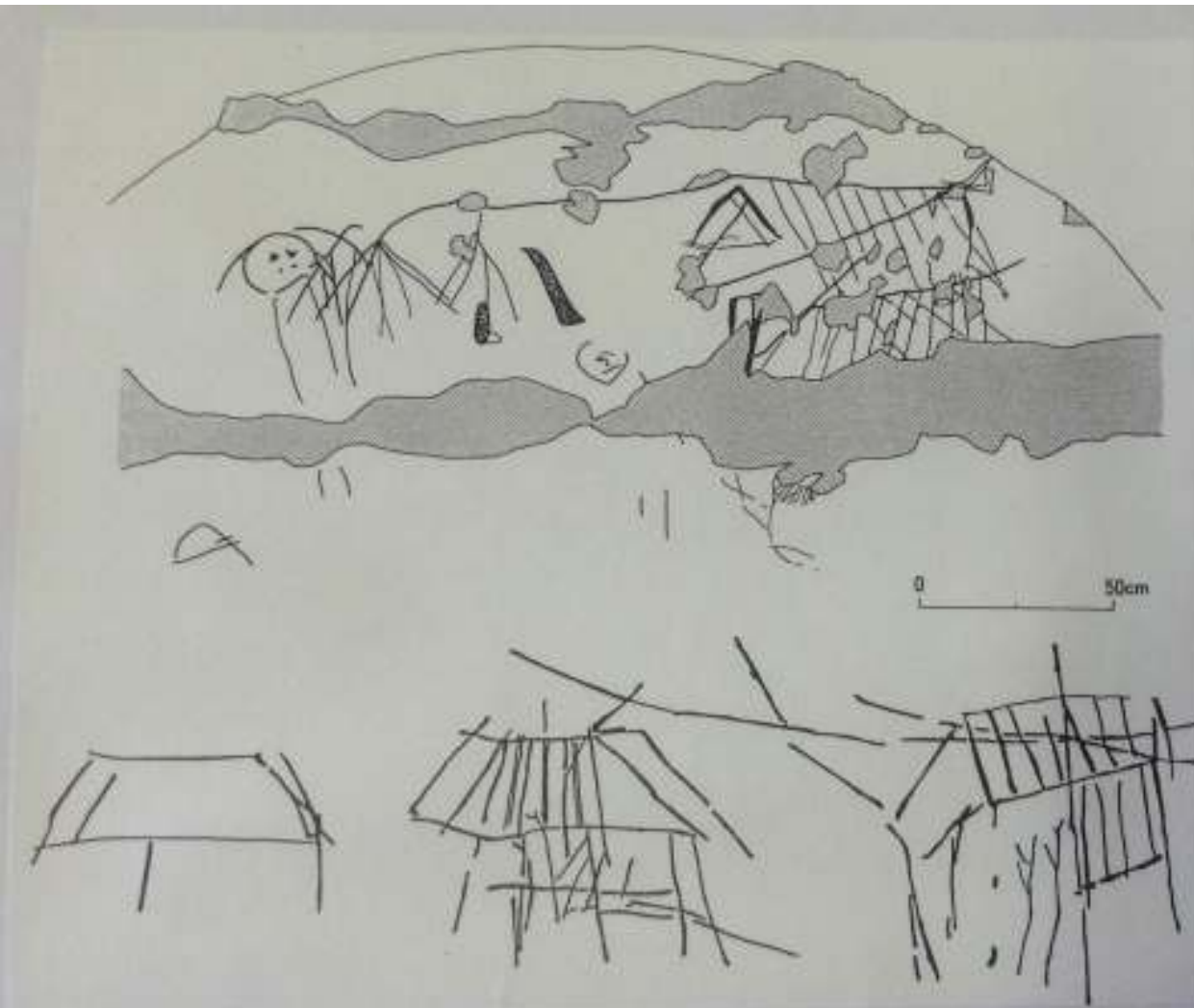
線刻画の写真



王禅寺白山横穴墓の線刻画



王禅寺白山横穴墓の弓矢画と比較資料



王禅寺白山横穴墓の建物・馬画と比較資料